

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	小学校入学祝記念品事業			
担当部署・課長名	教育総務	課	庶務	係 課長名 石川 博隆

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施策番号	1 - 1	-
【施策名】 学校教育の充実		総合計画書 (ページ)	31	

予算名	款 10 教育費	項 2 小学校費	目 1 学校管理費	事業 1 小学校運営費
-----	----------	----------	-----------	-------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市内小学校に入学する児童	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 公立小学校に入学する新1年生
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 子どもたちが交通安全に関心を持ち、ドライバー・保護者・地域の方への注意を促し、交通安全思想の普及・啓発を促す。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 黄色交通安全帽の支給率
	③ そのために何をしましたか。 市内の小学校に入学する児童の交通安全を願い、黄色交通安全帽子を授与する。 男子：野球帽 女子：メトロ帽	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 黄色交通安全帽子の購入数

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	人	768	718	743	
	成果指標	②の数値	%	100	100	100	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値	人	768	718	743	

3 経費	事業費(実績)		円	348,364	356,400	389,664	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	348,364	356,400	389,664	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.05	0.05	
		所要人数(再任用)	人				
事業費+人件費		円	761,714	769,050	801,864		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 開始時期不明。 児童の登下校時の安全を図るため。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 特になし。

仕 事 の 内 容	小学校入学祝記念品事業				
担当部署・課長名	教育総務	課	庶務	係	課長名 石川 博隆

5 市民等 の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	児童・生徒の安全対策については、市民及び議会ともに非常に関心がある問題である。				

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点				

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容				
	帽子のサイズ決定時(入学前年秋頃の就学時検診時)と比較し、入学時に頭囲成長したため、帽子のサイズを変更したいという訴えが相次いだ。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 教育総務課予備分の帽子について、急なサイズ変更にも対応できるよう個数を充足した。				
(3)(2)を踏まえた今後の課題					
平成30年度に取組んだ対応を引続き実施する。					

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 引続き、教育総務課予備分の帽子について、急なサイズ変更にも対応できるよう個数を充足させる。				
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 業者発注時の個数を検討する。				
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を維持する。			経費	仕事の経費は維持する。